

インターネット上の無許諾動画 監視システム「FReCs」



【FReCs: (Fast Recognition Correlation System) とは】

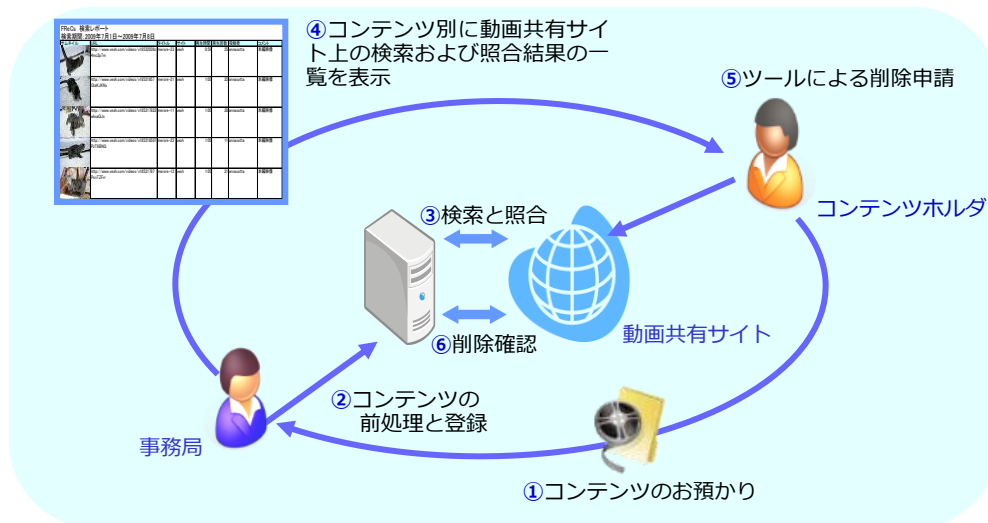
光相関アルゴリズムを応用して、インターネット上の無許諾動画検索に特化した監視システムです。

- ◆ デジカメの顔認識機能のように、色と形を元に動画・静止画を自動識別します。
- ◆ 無許諾動画を載せている動画共有サイト運営者への削除申請を簡易化します。

動画データの照合システム 特許登録済

【FReCsシステムの特徴】

1. インターネット上の画像や動画データを画像・動画そのものとして識別可能
2. 独自のアルゴリズムによる高速処理
3. 削除メール送信機能、削除結果管理機能

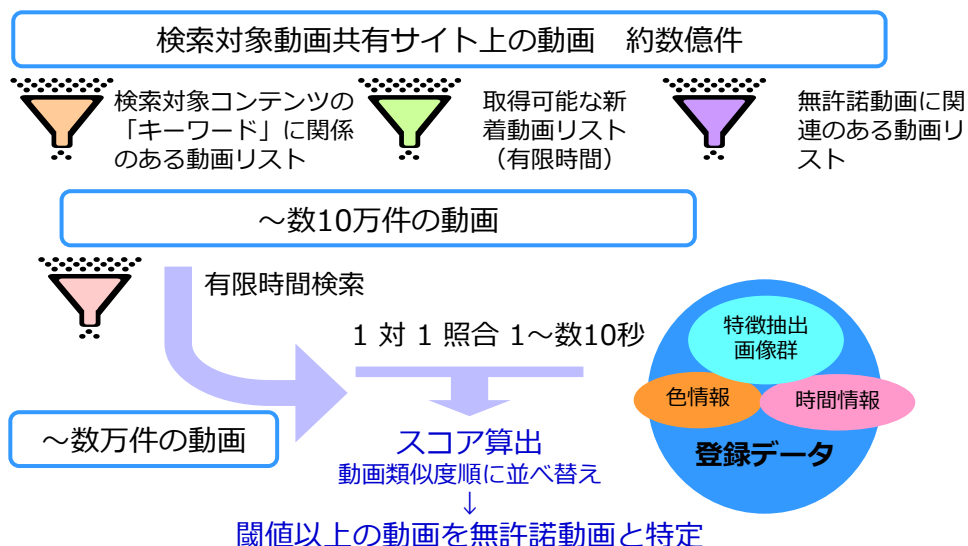


【運用実績】

- 平成20年8月から現在までに、のべ50を超える事業者・団体に対してシステムを運用
- 国のプロジェクトに加え、民間企業に継続的に無許諾動画監視サービスを実施

期間	事業名	備考
H20.8~H20.10	自動動画識別システムの実証実験	テレビ局を中心とした9社が参加
H20.11~H21.3	経済産業省委託事業「海賊版実態調査研究」	テレビ局・コンテンツホルダを中心とした17社・団体が参加
H21.11~H22.3	経済産業省委託事業「海賊版対策強化事業」	テレビ局・コンテンツホルダを中心とした11社・団体が参加（事業にはサイト事業者も参加）
H21.11~H22.3	日本音楽事業者協会委託事業「ITサービスの融合による新市場創出促進事業」	動画検索に加えて、写真集などの静止画検索も実施
H22.10~H23.3	経済産業省事業「コミック等静止画における知的財産権侵害対策に係る調査」	コミック等の静止画検索用にチューニングを実施
H22.11~H24.3	総務省「コンテンツ不正流通対策の共同検知システムの実証実験の請負」	在局のテレビ局6社が参加
H23.11~H24.3	経済産業省「リーチサイト・ストレージサイトにおける知的財産権侵害実態調査」	映像・音楽・ゲーム・コミックを対象に調査、法的検討の実施
H21.4~現在	・盗撮動画監視・無許諾動画監視 ・リーチサイト調査	レコード会社、映画制作会社、アニメ制作会社をはじめ26社の企業・団体に対して継続的にシステムを運用中
H25.6~現在	経済産業省事業「知的財産権侵害対策支援」	コンテンツ海外流通促進機構（CODA）より受託 10以上の事業者の参加を得て海外動画サイトの実態を調査

FReCsシステムによる無許諾動画の不正流通検知・削除申請



■ システム運用の安定性・容易性：システムの全体を網羅

5年に渡る実運用の中で培われたトラブル解決のノウハウ、各種ご要望をFReCsシステムにフィードバックし、高い安定性、操作容易性、効率運用、パフォーマンスの向上を実現しています。日々仕様が変化する各種動画共有サイトへのチェック機能も付いており、不具合の場合はアラートが自動配信されます。

■ 実運用に基づく効率検索・パフォーマンス向上の実現

実運用実績の中でデータベース化されたキーワードによる絞り込み検索や、全検索、関連検索が組み合わさることにより、高効率な検索を実現しています。

■ 運用実績に基づく幅広いサイトのクローリング

主要な15サイト以上（無許諾動画90%以上がアップロードされている）の動画共有サイトに加え、新たな動画共有サイトにも対応しています。

■ 使いやすいレポート用インターフェース

既に利用されている多数のコンテンツホルダの声を反映したインターフェースを持ちます。

■ 削除申請および自動削除チェック

動画共有サイトに対する削除申請メール送信システムを提供すると共に、その後実際に削除されたか否かを自動的にチェックし、報告を行います。

【 FReCsシステムの精度・速度】

■ 認証精度・速度 (認証速度目安はAmazonEC2(ミディアムインスタンス)1台の場合)

認証精度 10万件を照合して誤認証1件のテスト実績、字幕・変形などにも対応
認証速度 通常モード

登録容量1～10時間程度 ～5秒程度

詳細比較モード

登録容量1時間 2秒以下

登録容量10時間程度 詳細比較の条件によるが数秒～数分程度

